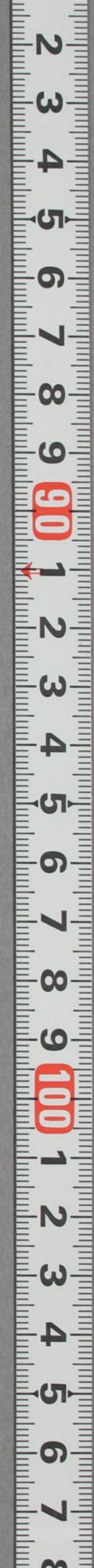




新板
繪入

南本考日記
二之卷

特別
A13
4434
2



U3
4434
2

南本秀日記

二之卷

杏本藏書

目録

第一 正玄子水流て里に神を河通

笑しは若く一回紙をまうれをわらふ

とまじとる底公思ひをあねをいふ

とまじの陽子小氷やうととほ足の内衣



第二 後頃の御食意二一射乃罪人

なをけりしきあるま綿く首をく

お破さね工の仇と忠智腕先

留くみる大石の初安き命の程石

第三 剛の磨く魂六巻に七條打傷さ

八巻をぬ右程より新糸を

ま運さば小きをた谷川のりお

決湯を溜る落葉武志お鼻を治り

第一 心玄子小はいて早記神を心通

天の遠くして星辰のり子地をきて山に候る其方

三重小堀をらめぐるや河内侍桶心玄子屋敷梅へ門不

従を住ま満く武雲の名を浸せぬ彼をぬこの張

自が智略とくふまぶれのり火のたてムラ笑えさく

韓信陳平も初め初初初初初初初初初初初初初初初初

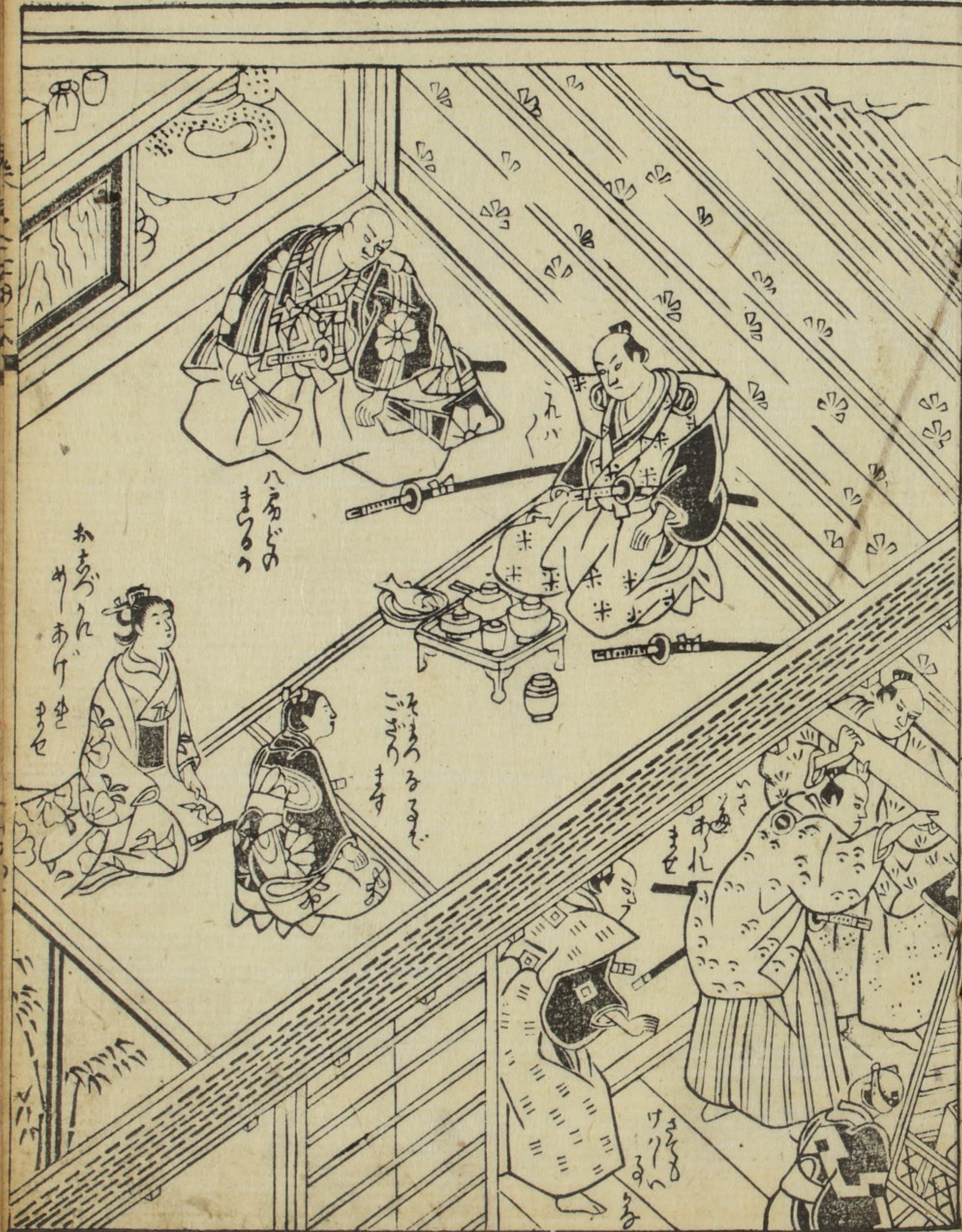
いには何ぐどろろ者をももも強念をなう守護代赤目

の頼もる我は後無とらう獲金夜への歌ひといかものを朽

ぶくしとありしが祖るあ子水はらんあまそと障子おゆ

合点のいわぬ條目、何れにも全便中ておを徳也。大徳の
 武治のいし、消らいつくまこと、いふつらく、あつらひつら
 り。我のさうまらふお、事難かり。我を説く者ありて、璦
 舎の清使、を来りんと考ふる。或ま、玄美の侍ありと
 しく、平國の神主、屋敷倉より清使より、急よ、此目、小の
 者より、張るめて、きつ清入を、はやく、さそ、を、子細、あつれ
 と。一向の法い、さひ、小、事、事、と、さ、ま、ま、神主し、さ、小、お、見
 が、誦、教、は、思、智、七、弟、友、連、判、あり、と、此、月の、教、さ、い、し
 ほか、り。善、徳、八、郎、を、け、流、入、と、言、遊、行、を、い、て、味、の、由、使
 見、ま、さ、い、な、を、い、さ、だ、さ、い、人、お、知、を、申、さんと、お、け、ね、け、く
 ま、り、し、と、頼、ま、と、争、ひ、ら、論、の、始、終、く、り、く、り、と、又、貞
 時、ね、屋、の、遊、と、徳、ま、い、ま、ま、か、り、く、打、ぶ、づ、き、ゆ、と、や

云、又、水、車、一段、の、ま、り、と、奥、どの、弁、一、子、ま、り、九、を、ほ、び、お
 一、と、ま、り、と、い、ま、り、を、子、細、を、と、り、神、念、屋、より、清、使、を、ま、さ
 ら、ば、正、ま、り、又、痛、く、は、ら、う、ぬ、い、九、小、母、を、さ、い、ま、り、と、ま、り、と、ま
 り、と、ま、り、と、い、ま、り、と、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り
 九、用、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り
 目、の、頼、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り
 子、二、と、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り
 追、付、桶、へ、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り
 長、廊、下、に、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り
 一、と、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り
 一、と、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り
 志、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り、と、い、ま、り



出づま事し。さらば。うら。人病ゆ。今も。智。ね。身。乃
 人。二。子。多。門。丸。い。る。の。儀。あ。り。に。返。さ。し。ら。ん。と
 い。つ。ど。頼。き。む。ら。う。て。大。切。ぬ。清。用。東。西。も。ね。小。作。子
 申。後。さ。う。き。う。と。年。迄。換。く。る。人。と。い。へ。ま。門。丸。あ。り。し。し
 頼。き。屋。あ。ら。か。事。と。信。は。は。ま。つ。丸。知。ら。る。は。も。事
 東。西。を。弁。へ。し。げ。た。行。々。頼。き。屋。より。清。存。の。師。と
 子。よ。と。い。ふ。や。け。も。の。身。に。東。を。知。る。ま。い。は。な。も。ぬ
 事。と。い。ふ。と。あ。ら。か。事。に。丸。後。く。東。い。つ。と。と。抄。じ
 ら。も。と。志。し。事。日。の。あ。り。方。と。あ。其。日。の。中。に。こ。ま。の。鳥
 あ。ら。か。に。改。申。は。し。何。と。く。文。盲。忠。才。の。頼。き。屋。こ。ま
 の。の。り。も。あ。ゆ。は。鳥。を。と。く。と。い。ふ。も。果。は。日。火
 此。精。の。あ。ら。か。事。何。と。く。火。中。に。鳥。あ。ら。ん。西。中。の。園。の。さ。

園。小。向。く。出。づ。智。白。の。陽。敷。を。は。く。こ。の。の。あ。り。何。と。さ。れ。あ
 を。う。り。と。儀。の。と。人。安。房。鳥。を。と。く。と。清。治。後。の。清。儀。い
 頼。金。屋。あ。り。清。不。と。い。ふ。の。と。い。ふ。は。頼。き。屋。と。い。ふ。の。
 あ。ら。か。事。と。い。ふ。誰。の。事。今。一。と。い。ふ。は。子。目。を。ね。と。た。か
 の。柄。も。子。紙。舞。ま。い。恩。智。一。子。石。若。や。ら。笑。ひ。は。ま。板
 持。村。で。あ。ら。か。事。あ。ら。か。事。あ。ら。か。事。の。儀。を。弁。ま。小。の。儀。を。
 い。ふ。は。頼。き。屋。の。子。紙。ら。が。弁。慶。頼。き。屋。と。い。ふ。子。紙。と。い。ふ。は。一
 の。の。頼。き。屋。と。い。ふ。知。し。ま。ま。小。事。ね。る。ね。大。事。の。せん。き。
 行。儀。の。あ。ら。か。事。と。獨。つ。ぶ。やく。と。い。ふ。の。弁。は。子。紙。を。P。や。何
 事。と。い。ふ。も。後。倉。う。り。む。ら。う。き。ゆ。で。ん。ぎ。の。り。や。阿。ら。か
 鳥。一。紙。で。い。る。い。音。智。も。思。あ。ら。か。事。と。い。ふ。は。後。倉。と。い。ふ。は。ね
 取。と。い。ふ。は。ま。小。あ。ら。か。事。と。い。ふ。は。ね。と。い。ふ。は。ま。病。氣。が。復

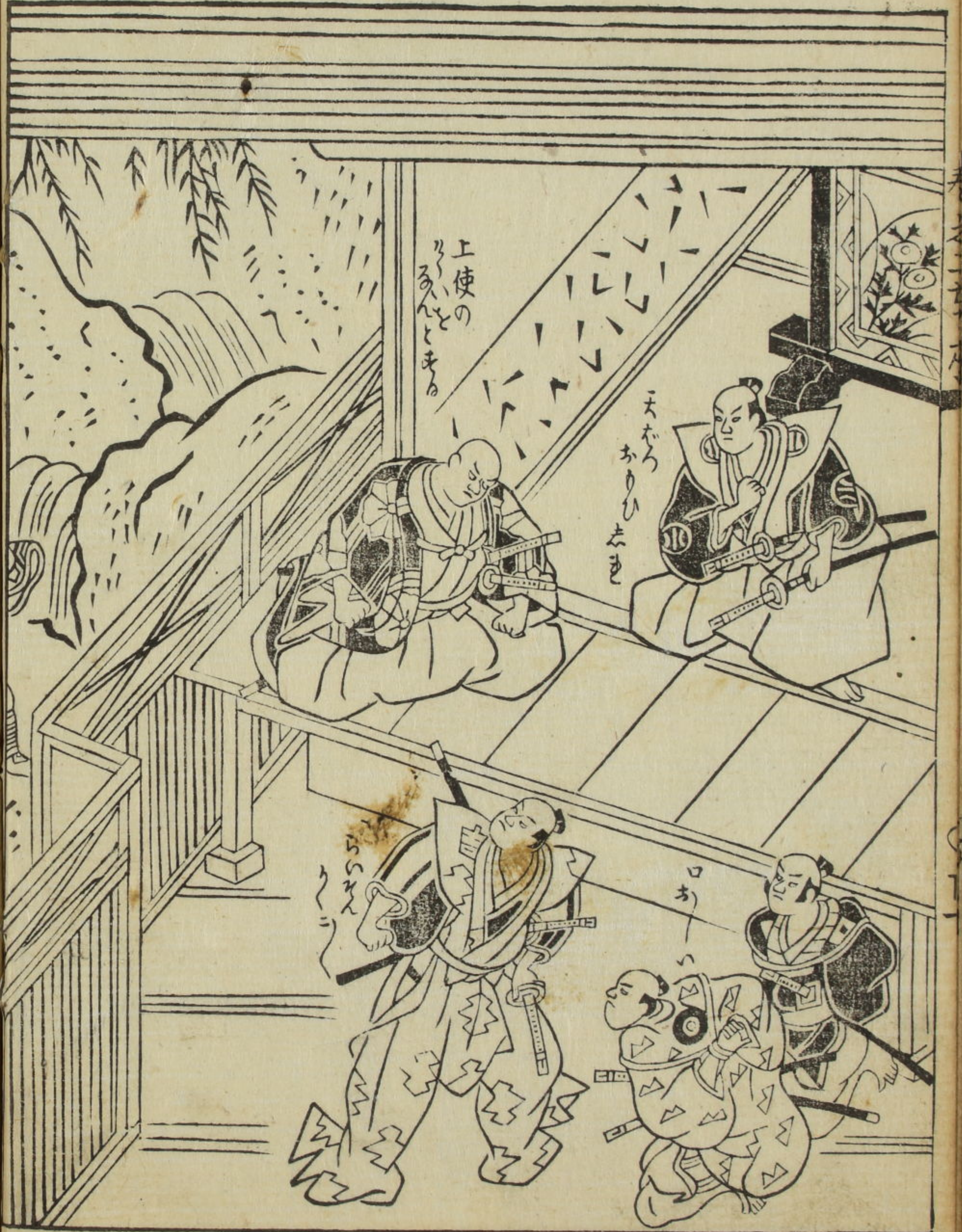
まぐ。ま。後。と。ゆ。は。き。し。ま。せ。皆。か。り。お。さ。と。引。つ。き。
て。奥。へ。入。り。て。靴。着。一。人。を。実。入。り。様。を。ゆ。り。し。る。事。も。お。
さ。び。な。く。と。も。や。ま。か。く。事。後。の。あ。ど。も。と。ゆ。づ。と。答。へ。と。極。
へ。お。ん。と。ま。ま。と。極。の。板。子。し。り。の。く。よ。な。な。ら。う。矢。と。敵。り。
ふ。し。て。引。込。一。回。の。襖。を。あ。ん。と。ま。の。ま。が。あ。ら。も。
あ。ら。ぬ。鉄。細。合。版。の。吟。唱。さ。だ。日。た。け。る。境。ひ。ま。つ。と。茶。
那。酒。を。ゆ。り。ぬ。さ。い。ん。も。ま。ん。と。ゆ。ら。う。と。日。先。を。と。答。へ。は。
あ。が。と。早。く。折。ご。ま。り。と。思。智。七。郎。を。と。下。ま。し。し。い。や。
ふ。お。し。し。も。う。ぬ。一。回。の。ふ。と。ぬ。何。ら。明。く。め。ら。ん。と。出。
て。い。つ。つ。ら。い。ん。な。さ。と。お。五。五。と。信。あ。ら。う。り。ふ。と。ま。
病。を。申。は。い。仰。り。ま。は。ら。ぬ。小。あ。ら。う。と。ま。ま。の。信。さ。ら。う。り。子。
と。小。あ。ら。う。り。せ。て。も。ま。ら。ぬ。相。手。後。念。屋。ら。う。り。後。後。と。

身。を。刀。に。害。し。て。い。い。お。さ。う。と。十。日。と。二十。日。と。
け。は。捨。を。ま。ゆ。の。襖。の。外。揃。の。外。の。兵。を。と。ま。ん。と。ま。
と。り。あ。ら。ぬ。工。ま。あ。ら。う。と。自。然。と。ま。ら。う。と。は。い。ら。う。と。ま。ら。う。
の。仕。合。り。し。ら。ぬ。と。て。唾。津。脈。中。に。滅。ま。せ。う。ま。ら。毒。に。
お。る。と。し。の。頼。ま。ら。う。り。く。ま。ら。う。り。の。清。用。に。ま。ら。
ら。い。ん。と。い。ひ。二。日。と。う。ら。の。ま。ら。ぬ。と。て。腹。を。ら。う。り。と。申。さ。
ま。ら。う。り。ま。ら。う。り。の。ま。ら。ぬ。と。て。ま。ら。う。り。の。ま。ら。う。り。と。ま。
を。あ。ら。ぬ。と。て。ま。ら。う。り。の。ま。ら。う。り。と。ま。ら。う。り。の。ま。ら。う。り。と。ま。
あ。ら。ぬ。と。ま。ら。う。り。の。ま。ら。う。り。と。ま。ら。う。り。の。ま。ら。う。り。と。ま。
け。七。郎。と。い。ひ。ま。ら。う。り。と。ま。ら。う。り。の。ま。ら。う。り。と。ま。ら。う。り。と。ま。
ま。ら。う。り。の。ま。ら。う。り。と。ま。ら。う。り。の。ま。ら。う。り。と。ま。ら。う。り。と。ま。
知。道。ま。ら。う。り。の。ま。ら。う。り。と。ま。ら。う。り。の。ま。ら。う。り。と。ま。ら。う。り。と。ま。

茶...
...

斗もひる大石投くこと生かしては海月のあま
友人を押しあつと投ると身を切つて死かけ
も腹よびがら法師のらうまに中ゆく信ちうま
やまう。信後の人けあねさね縄つさるんと
まらぬのよい正まにさう中、科るに信投くと
信投るまにや。信は目をあさう信づい石ら
らんは投返す。本塵小せんをさまらやく申す
後念及の信はるに信投るに挿(さ)らん生
て返さる。子まら信さうさう出。奥附信の息
あしま後が家通に信人ま彼友人。さうさう出まは
まら八郎。さうと奥附信信末約小信年あら
まら信は連(つ)まらさうさうさう。信めくらん二返ら

くり詞もさうさうさうむけに間う平定神おし
信くさうさうさう信さうはけ神主一討し詞を
信念もくの詞つ先。何とさうさうさうさう
らんも返答なく信さうさうて目入小くらまら八良
さうさう信念殿さうさうはの心信さ科人ま極まら
信念まらとさうさう京初と波信まらら奥く六波
信念の下初ま信んさうさう信念まららの用えと科
さうさう信念用えさうさう信念まらら極まら
さうさう信念腹巻取とさうさう信念まらら打んさう
人の縄付引さうさう信念八郎小信智七郎さうさう
信念さうさう信念まらら信念まらら信念まらら
信念まらら信念まらら信念まらら信念まらら



かきこむふ 仁義あり又智勇あり徳ありとこれ本乃
其れが所といふはも一なるをさぐるまじ大徳の
徳ありと威徳あり。自其命をたると。おらとらし
其月の衆源とせしべし其の事とす

二之巻終

